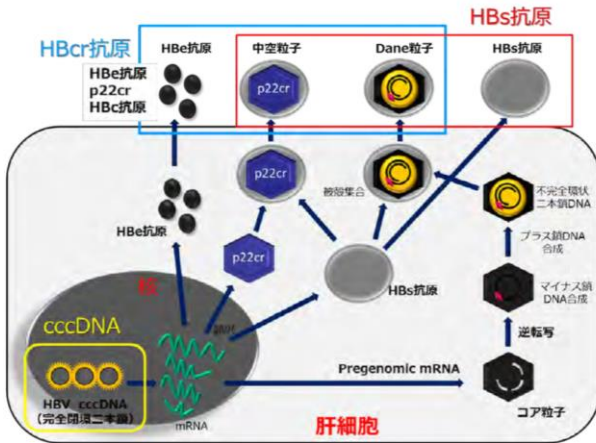




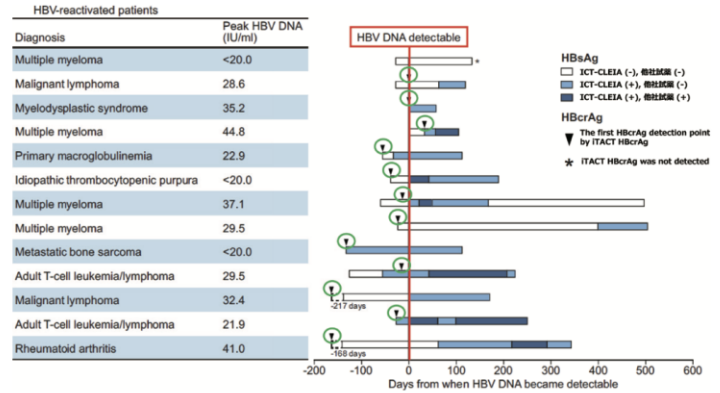
HBコア関連抗原 (HBcrAg) について紹介します

HBcrAgとは

図2 HBV 関連マーカー



HBコア関連抗原(HBV core-related antigen:HBcrAg)は、pregenomic mRNAから翻訳されるHBc抗原、precore mRNAから翻訳されるHBe抗原、p22cr抗原の3種類の抗原構成蛋白の総称です。



高感度HBcrAg検査はPCR検査と同等以上の性能かつPCRよりも迅速検査が可能であるため、DNA検査の代わりになり得る可能性も報告されています。

Clinical efficacy of a novel, high-sensitivity HBcrAg assay in the management of chronic hepatitis B and HBV reactivation
 JOURNAL OF HEPATOLOGY. Volume 75. Issue 2. August 2021. Page 302-310

2022年6月 B型肝炎治療ガイドラインが改定されました (第4版)

HBcrAg についてRecommendationが追加

- HBコア関連抗原は、自然経過、核酸アナログ治療中の発がんリスクの指標となりうる (レベル2b, グレード B)
- HBe抗原消失例やHBs抗原消失例において HBコア関連抗原量の低下あるいは陰性化は発がんリスク低下の指標となりうる (レベル5, グレードC1)
- HBVDNA陰性化後は、HBコア関連抗原の陰性化が目標となりうる (レベル2b, グレードB)

日本肝臓学会 編「B型肝炎治療ガイドライン(第4版)」2022年6月

現在、外注検査で高感度HBcrAg検査の契約締結作業中です。
 今後は院内検査で実施できる体制を構築できるよう進めていきます。